

ボランティアだより岸和田

地域のイベント・ボランティア情報が満載!



ポッポ
岸和田市協
イメージ
キャラクター

発行所

岸和田市ボランティアセンター
〒596-0076
岸和田市野田町 1-5-5
opsol 福祉総合センター
☎ 072(430)3366
FAX 072(431)1500
e-mail
vc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.com

編集

ボランティア情報紙編集委員会

視覚障がい者のためのウクレレ体験会の参加者を募集!!

主催
アイサポート泉州

グループ紹介

2018年にスタートした「アイサポート泉州」は、opsol福祉総合センターを活動拠点として視覚障がい者が地域社会と共生するための環境整備の推進を活動の目的としています。また、視覚障がい者が直面する多種多様な問題に応えるために発足したグループです。メンバーは、視覚障がい当事者と健常者のサポーターで構成されています。

現在までの具体的な活動内容は、小中学校の福祉教育や各種セミナーへの講師派遣活動、視覚障がいに関わる福祉相談の受付と傾聴活動、ブライندスポーツに対する支援活動などを実施してきました。



みんなで練習

新たな取り組み

今年度は、新しい取り組みとして、楽譜が見えない視覚障がい者でも音楽を楽しめる場所を造りたいと考え「ブラインド ウクレレ クラブ」を結成することになりました。

まず、今年度4月号の本紙で健常者のサポーター希望者を募り、現在に至るまでウクレレの練習を積み重ねてまいりましたが、いよいよ視覚障がい者の皆さんにウクレレに触れてもらえるチャンスが到来しました。

なお、練習用ウクレレは、アイサポート泉州から貸し出ししますので、楽器の事前購入は必要ありません。

開催日時・場所

10月21日(土)午後1時30分～3時30分 opsol福祉総合センター3階講座室2

募集対象者

- ①泉州地域に在住する視覚障がい者 定員5名
- ②サポーターを希望する健常者 定員5名

※①②ともに事前申し込みが必要となります。定員になり次第受付終了します。

問合せ先

アイサポート泉州 代表 吉川眞司
TEL:090-1228-2242 毎日、正午から午後9時まで



視覚障がい者囲碁を楽譜代わり

DaDaDaDance4

だれでも、だいじょぶ、だいすき、ダンス

opsol福祉総合センター大会議室にて、
第4回開催決定!

令和6年2月10日(土)10時～15時(予定)

障がいの有無、年齢、性別、国籍問わず

ダンス発表、ダンス体験、アート、音楽ライブの
ミックスイベント



どなたでもご参加いただけます。

問合せ先 DAIJOB GOODJOB 椎山(シヤマ)
090-9057-6616

市民活動
ステーション



コラボラ

開催日 12月9日(土)14時～16時
会場 opsol福祉総合センター

実行委員募集

コラボラは、さまざまな活動が岸和田市内で開催されていますが、活動実践者同士をつなぎ新たなコラボレーションを生み出すことを目的に実施しています。

実行委員は、年2回(8月・12月)にコラボラを開催するために隔月程度で企画を考えるための実行委員会を開催します。

ご自身も活動実践者でコラボレーションを実践者目線で考えたい方や他の市民活動の理解を深めたい方、イベント企画をしてみたい方などなど興味がありましたら、ボランティアセンターへご連絡ください。

市民の力で一緒に地域の輪をつなげていきましょう。学生さんも大歓迎。

問合せ先 ボランティアセンター 072-430-3366

第5回

地域で未来を支える
フォーラム

子どもを取り巻く社会的課題を市民の皆さんに伝えていくために開催している地域で未来を支えるフォーラム。今回は、「自分らしく生きるための性と生の学習」をテーマとして、性と生の学習とはどういうものなのか、家庭や地域でどんなことを取り組めばよいのか、一緒に考えましょう。

たくさんのご参加お待ちしております。

日時 11月11日(土)14時～16時
場所 opsol福祉総合センター2階研修室2
またはZOOMIによるWEB参加

参加費 無料
申込方法 QRコードの申込フォーム
または下記問合先から
お申込みください。

問合先 ボランティアセンター
TEL: 072-430-3366 FAX: 072-431-1500



ボランティアだより 編集委員 募集

本紙の編集委員を募集します。

年3回(4・7・10月)岸和田市内のボランティアに関する情報を発信しています。

編集委員は、活動の取材や記事作成、校正など紙面の作成をしています。

ボランティア活動や紙面作成に興味がある方で参加希望される方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。ボランティア活動を現在しているかどうかは問いません。市民目線の情報発信にご協力ください。

問合先 ボランティアセンター 072-430-3366

編集後記

アフターコロナの生活が始まったような雰囲気です。しかし、コロナ前と同じではなく感染症と共存する生活に変化しているように思います。第1回ボラフェスは、数年間顔を合わせることができなかった実践者が集まり、互いの活動を改めて知る機会にできたのではないのでしょうか。参加者の反応もスタッフの反応も上々でやってよかった。少しの達成感を感じつつも、次への仕掛けを考えています。

(事務局 藤澤)

熱気あふれる

ボランティアフェスティバル in 岸和田

第1回ボランティアフェスティバルin岸和田が8月19日(土)にopsol福祉総合センターのアリーナで開催されました。岸和田市ボランティア連絡会と市民活動ステーション「コラボラ」の共催です。アリーナの前半分で舞台発表を、後半分には壁に沿って14の出展グループのブースが並びました。

舞台発表が一つ終わると、実行委員がハンドマイクを持って、ブースで出展者にインタビューをします。舞台準備が整うと発表です。アリーナの中央部分では、ストックを使ってノルディック・ウォーク体験ができます。ドローンも並んでいます。

1つの会場にあれもこれも詰め込んであります。その雑多なものが、場所と時間をうまく配分して、繋がりました。

ボランティアフェスティバルに向けて、5月から打ち合わせを重ねてきました。今回は第1回でもあり、まず関係者を中心とした内向きで、場所も一か所に絞って取り組むことにしました。その結果、スタッフも含めて167名の参加による充実した催しとなりました。

舞台では7つのグループが発表しました。しっとり優雅な踊りもあれば、はち切れそうなエネルギー溢れるものもあり、変化に富んでいました。衣装もそろそろ見事さもあれば、豪華なものもあって楽しめました。

社協の実習生5名もスタッフとして参加し、気づきの多い体験になったようです。また、その発言から次への課題も見えてきました。

(実習生の感想)

- ・ボランティアのイメージが変わった。自分のためのスキルアップにもなる。
- ・社協職員はまるで黒子のように地域と密着して仕事をしている。
- ・会場に熱気があり、パワーがあった。
- ・高齢者が多い。若い人向けの工夫がある。(ブース巡り等)

おまけ

楽しくボランティアをすれば、相手にも伝わり、長く続きます。だから、ここに集まった岸和田の高齢者は熱くパワフルで元気かもしれません。(編集委員 川口)



歌体操の舞台発表



ブースでのインタビュー



コラボレーターマソング合唱

●岸和田市ボランティア連絡会

ボランティアセンター登録グループによる連絡会

●市民活動ステーション「コラボラ」

岸和田を元気にしたいボランティアや市民活動団体が出会い、話し合い、つながる交流会を開催。(年2回8月・12月)



みんなで集合写真(ドローン撮影)